

UV硬化型RTVシリコーンゴムの 3つの硬化タイプ

UV硬化型RTVシリコーンゴムの種類は、速硬化のラジカル重合タイプ、UV照射後、常温あるいは加熱で遅延硬化するUV付加タイプ、UV光が届かないエリアも縮合で硬化するラジカル・縮合併用タイプなどバラエティーに富んでいます。



■ UV硬化タイプの種類と特長

項目		タイプ			
		ラジカル重合	UV付加	ラジカル・縮合併用	
特長		速硬化、低硬度～高硬度 シリコーンとポリイミドシリコーンの ラインアップ	UV照射後の貼り合わせ (工程逆転)が可能 室温硬化による超低収縮 低温加熱による硬化時間短縮	UV光が届かない箇所も 縮合反応で硬化する	
反応副生成物		—	—	アルコールまたはアセトン	
硬化性	UV	速い	遅い	速い	
	加熱	NA	常温～80℃×1h	NA	
	湿気	NA	NA	1日～*1	
硬化阻害	酸素	受ける	受けない	受ける*2	
	S・N・P化合物	受けない	受ける	受けない	
	酸、アルコールなど	受けない	受ける	受ける	

*1 硬化に要する時間は、厚さによって異なります。縮合反応タイプの硬化性については、電気・電子用RTVシリコーンゴムのカタログを参照してください。

*2 酸素阻害を受けた箇所は縮合反応で硬化します。